

## 不具合が見られた電動アシスト自転車

アシスト力や充電コードに不具合が見られた電動アシスト自転車があります。該当する商品をお持ちの人は事業者へお問い合わせください。

電動アシスト自転車について、国民生活センターに左記の相談が寄せられたため、商品テストを行いました。

### 相談事例

- ① 電動アシスト自転車のアシスト力が強い。
  - ② バッテリーを充電していたら、充電器のコードが発煙・発火した。
  - ③ バッテリーを充電器に接続したところ、充電開始後すぐにコードから発火した。
- (以下、①の商品を当該品1、②の商品を当該品2、③の商品を当該品3とします)

### 当該品の情報

【当該品1】自転車の型番「bicycle-452 assist」  
充電器の型番「ACK42B」

【当該品2】自転車の型番

「bicycle-205 assist」

充電器の型番

「OL-09005-B2401500F」

【当該品3】自転車の型番

「bicycle-206 assist」

充電器の型番

「OL-09005-B2401500F」

※当該品1〜3の製造（販売元）は、いずれも日本タイガー電器株式会社

### テストの結果

当該品1のアシスト力は道路交通法で定められた基準を満たしておらず、公道を走行できないものであると考えられました。当該品2、3は充電コードが損傷した状態でバッテリーを充電するとコードが発火する場合がありますことが判明しました。

### 消費者へのアドバイス

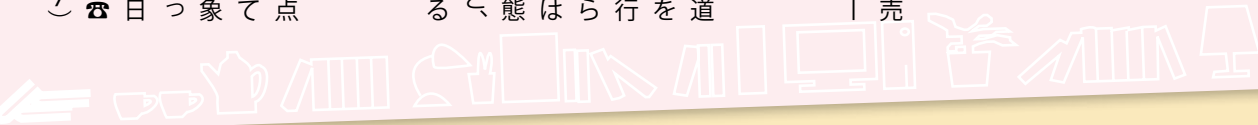
当該品1は、事業者が点検・部品交換を無償で行っています。当該品2、3は対象者にメールで注意喚起を行っています。詳細は、事業者日本タイガー電器株式会社 ☎ 050-2018-2477 にお問い合わせください。



★ 消費生活センター業務時間  
時間・場所

①～⑤ 8時30分～17時  
(来所は9時～16時)

本庁舎1階 消費生活相談室  
相談専用電話 ☎ 574-2233



## 地域の魅力 ふる里再発見



### 遺跡が語る中世の伊達①

第5回 遺跡から見える伊達家存続の布石

室町時代、この時代は、英雄無き時代ともいわれるそうです。各種の政権抗争、派閥争いを繰り返す、幕府体制は、様々な思惑が渦巻く中で、その権威が維持されてきたようです。その反面、奥州の国人たちは、幕府の状況を俯瞰しながら自身の生き残りや勢力拡大などを望み、それぞれの立場を徐々に明確にしていきました。

ある国人は、鎌倉府との連携を望み、また、ある国人は、情勢をうかがいながら、他の国人と契約（一揆）を結び鎌倉府の対応を検討しようとする動きを見せます。また、伊達氏や会津の蘆名氏などは、室町幕府との連携を選択したのでした。

室町時代後半から戦国時代前半にかけて、伊達氏の本拠となった梁川城では、「かわらけ」と呼ばれる土器が増え始めるようです。「かわらけ」は、古代より政治や祈りの場での儀礼に欠かせない清浄な器との考え方があります。伊達氏の館で「かわらけ」の使用が増加し

ていたことは、伊達氏の政治的活動が活発であったことを表しているのかもしれませんが。

不安定な情勢を生き残り、自身の勢力や権威を高めていこうとした伊達氏の姿が見え隠れします。また、これを示すように伊達氏は、長井（現在の山形県置賜地方）への経営に本腰を入れていくのでした。この後、伊達氏は室町幕府との連携強化をてことして、奥州における自身の立場をより強固なものとしていきます。

この布石が、後の伊達積宗（伊達家14代当主）の陸奥国守護職の補任や、戦国大名・伊達政宗の誕生へつながっていくのです。



梁川城跡から見つかった「かわらけ」